常にお客様の立場に立っていたいと馬場社長

従業員教育のための研修会なども充実している

## 新時代のユニフォーム
### 子育て・地域づくりの応援アイテムに
**ムサシノ商店**

多摩地域にある公立中学・高校約300校の学生服や企業ユニフォームなどの販売・製造を手掛けるムサシノ商店（武蔵野市、田中秀篤社長、0422・22・0521）。1944年に祖父が創業した老舗を2年前に引き継いだ田中社長は、ユニフォームの意味の捉え直しを図る。

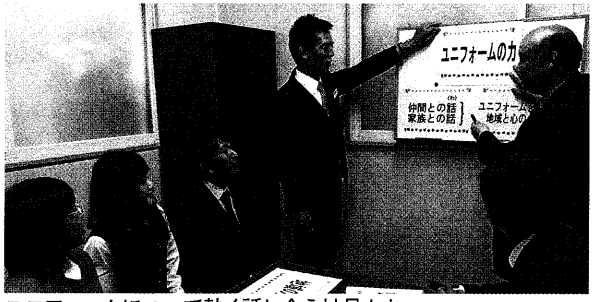
所属を示したり、作業効率を上げたりするのに用いられてきたユニフォームだが、田中社長は「人と人のつながりを目に見える形で発信するもの」と考える。

同じ学生服を着ていた友達は、卒業後も友達であり続ける。また、学校を取り囲む地域には地場の企業があり、その企業のユニフォームは、子どもを見守る大人を示す目印になる。従業員の意識を統一させ、意欲を高める力もある。

「子育てや人育て、安全な地域づくりに、ユニフォームがお手伝いできることがあります」と田中社長は語る。

学校での受注会の他、教員や地域住民とともに学生服の効用を話し合う催しを通じて、田中社長が掲げるユニフォームの価値観を積極的に伝えている。営業職を中心に社内でも活発に意見を交わしており、「理念を掲げたことで、従業員の意識が前向きになっています。子育てや思い出作りを応援する産業にしていきたい」と意気込む。

ユニフォームのイメージを変えていきたいという田中社長は４期生




ユニフォームについて熱く話し合う社員たち

## 精密機械部品の切削加工の専門家
### 職人の技術を自動制御に応用
**月井精密**

月井精密（八王子市、名取磨一社長、042・677・8461）は、金属や樹脂などを精密に加工する精密機械部品の加工メーカーで、多品種少量の難易度の高い加工を得意とする。検査箇所500～1000点程度の部品を1ミクロンの誤差もなく仕上げる技術に自信を持ち、航空衛星・自動車・医療・光学・計測機器などの部品を手掛ける。

職人の持つ昔ながらのフライス加工、旋盤加工の技術やノウハウを数値化し、コンピューター技術と組み合わせて、五軸マシニングセンター、三軸マシニングセンター、複合旋盤などの自動制御の工作機械に応用させているのが同社の強み。

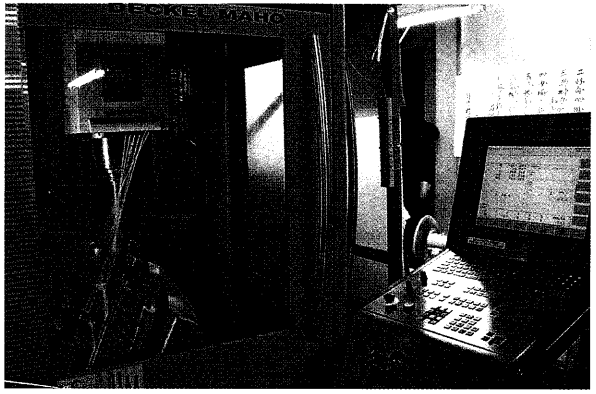
創立者の月井廣士会長が60年かけて培った“技”を、若い世代に伝承し発展させることをテーマとして取り組んでいる。「文部科学大臣表彰 創意工夫功労者賞」を受賞した、切削鏡面加工の技術も、会長の刃物の技術をコンピューター制御の加工に応用したものだ。

名取社長は祖父である月井会長の元で2年間修行し、2004年に弱冠20歳で会社を継いだ。職人の技を次世代に発展させるため、積極的に同世代の若い未経験者をエンジニアとして育成してきた。

この若手育成のノウハウを元に外国人の育成も始める予定で、それを皮切りに海外進出を計画している。3年後にはタイに第一弾の拠点を持ち、さらに地域を広げていく予定だ。



二十代ながら社長就任8年の名取磨一社長は3期生



五軸マシニングセンターなど設備も充実している

同社が建築中の現場写真（2012年10月現在）

## 施工
**城山**

営計画、資金12年1月に父・経営を引き継なり、社員とそ責任の重さがた。今はまだ受けている部これからという城山社長。

同社では、「低予算で改修しなければならない箇所だけ直したい」「古いマンションを豪華に改修したい」といったお客さまの多様なニーズに、建物の現状を正確に把握した上でとことん応えるという。

「価格や工事期間の調整にも柔軟に対応します。また、良い職人をいかに束ねるかも重要なのですが、それもご満足いただく自信があります。現場調査や積算業務も迅速に行いますので、ぜひ内装工事とリフォームはお問い合わせください」と城山社長は胸を張る。